

2008年3月期 決算説明会 質疑応答概要

- Q1 : 前期の映像制作への投資額と償却額、今期の計画はどのようになっているのでしょうか？
- A1 : 前期の映像コンテンツへの投資金額は約 914 百万円、費用計上額（償却額）は約 850 百万円、前期末たな卸資産としての計上残高は約 312 百万円でございます。今期の映像コンテンツへの投資額は現状決定しているもので、約 608 百万円、費用計上額（償却額）は約 741 百万円、今期末たな卸資産としての計上残高は約 179 百万円を予定しております。DVD 市場について、販売タイトル数の増加に伴い 1 タイトル当たりの販売本数が減少傾向にある中、映像コンテンツへの投資につきましては、数多くの作品に投資するのではなく、作品を絞り込んで投資を行うことを基本方針としております。
- Q2 : 米国子会社に関して、英国子会社立ち上げ時の様な混乱はないのでしょうか？
- A2 : スウェーデンの会社とジョイントベンチャーとして設立した英国子会社の **Rising Star Games Limited** とは違い、米国子会社の **Marvelous Entertainment USA, Inc.** は、現地ですでに実績のあるディストリビューター **XSEED JKS, Inc.**（国内法人株式会社 **AQ** インタラクティブの子会社）との業務提携という異なった方式で、リスクを抑え参入いたしますので、大きな混乱はないものと考えます。なお、営業、販売、宣伝は全て **XSEED JKS, Inc.** が行い、それらの費用を差し引いたプロフィットをシェアいたします。
- Q3 : 米国子会社の黒字化は今期でしょうか、来期でしょうか？
- A3 : 今期、**Marvelous Entertainment USA, Inc.** の売上は 5 億円、利益は 8 百万円を見込んでおります。固定費も少なく、4 タイトルを発売することで、初年度での黒字化が可能と考えております。